

『専修ビジネス・レビュー』

Vol.13 No.1 刊行のことば

専修大学商学研究所所長

神原 理

2006年に創刊された『専修ビジネスレビュー』は、これまで多くの方々に支えられ、13号を発行するまでになりました。その前身となる『商学研究所報』から数えれば、42年の長きにわたって所員等の研究成果を発表する貴重な学術誌として機能してきました。

その間、時代の様相も大きく変わりました。手書きの原稿をしたためていた時代から、ワープロやコンピュータによる原稿執筆の時代を経て、やがてはA I（人工知能）が我々の興味や関心を推測して、研究アイデアの創出から論文作成まで支援してくれる時代になるのかも知れません。こうした時代の変化を受け止めながらも、「商学研究のあり方」を模索し続ける姿勢は不変であればと思っております。

本誌は、創刊以来、特集論文と自由論文で構成する編集方針をとっており、本号では、「小売業の新たな役割と展開」と題した特集テーマのもと、所員による研究成果を掲載しています。グローバル化、少子高齢化、A Iの進化など、様々な環境変化の中で小売業が果たすべき役割について所員が論考しています。

末尾になりますが、貴重な研究成果を本誌に投稿して下さった執筆者各位に心からの御礼と敬意を表したいと思っております。また、平素より商学研究所の活動に対して様々なご支援・ご協力を頂いている関係諸氏に対しても、心から御礼を申し上げます。

本誌をとおして商学研究所の活動成果が少しでも多くの方々の目に触れ、学内外での知的交流を促進する機会になればと願っております。

2018年3月